## FsUtils.dll "ExternalObject"

ExternalObjectを使ったAfter Effectsスクリプトの機能拡張するものになります。

音関係のコマンドが増えました。

動作確認用のコマンドライン版(FsUtils.exe)も入れてあります。

## 使い方

インストラーを用意しましたので、それを使ってください。 下記の場所にインストールされます。 FsUtils.dll単体は、インストールしてそこから取ってください。

C:\Program Files\bry-ful\FsUtils\FsUtils.dll

ヘコピーされます。

機能を増やしたら、必至dllが増えてしまいました。

今のところ以下のDLLが必要ですが、大体既にインストールされているはずですが。

- api-ms-win-crt-convert-l1-1-0.dll
- api-ms-win-crt-heap-l1-1-0.dll
- api-ms-win-crt-locale-l1-1-0.dll
- api-ms-win-crt-math-l1-1-0.dll
- api-ms-win-crt-runtime-l1-1-0.dll
- api-ms-win-crt-stdio-l1-1-0.dll
- api-ms-win-crt-string-l1-1-0.dll
- MSVCP140.dll
- VCRUNTIME140.dll
- VCRUNTIME140\_1.dll

DLL単独で違う場所・スクリプトと同じ場所等に移動させるときは上記のDLLも一緒に入れておくと安心です。

実際のコーディングでは、ExternalObjectを作成してその引数にその場所を指定します。 具体的には以下のコードを見てください。

```
var fsU = null;
function initExtension(extensionDir) {
   var ret = false;
   try {
       fsU = new ExternalObject("lib:" + extensionDir);
       ret = true;
   } catch (e) {
       ret = false;
       alert("exception: " + e);
   if (fsU==null)
       alert("init error!");
   return ret;
}
//ここではインストールしてあるものを使ってますが、好きなところにd11をコピーしてパスを書き
換えれば大丈夫です。
initExtension("C:\\Program Files\\bry-ful\\FsUtils\\FsUtils.dll");
```

jsxフォルダ内にあるスクリプトを参考にしてください。

## コマンド

上記で作成したExternalObjectのメソッドとして以下のコマンドが実装されています。

随時増やしていくつもりです。

まだ文字列に関するエラーチェックが甘いので変な文字列を与えるとヤバいです(近いうちに直します)

- clipboardSetText(str)クリップビードに文字列をコピーします。
- clipboardGetText()クリップボードから文字列を獲得します。
- pathGetParent(path) パス文字列から親ディレクトリを返します。
- pathGetName(path) パス文字列からファイル名のみ抜き出します。
- pathGetNameWithoutExt(path)パス文字列から拡張子なしのファイル名を抜き出します。
- pathGetExt(path) パス文字列から拡張子を返します。

processAEList()

起動しているAEの情報が配列で返ります。

processList()

起動しているプロセスの情報が配列で返ります。

showWindow(hWnd,nCmdShow)

指定したウィンドウハンドルで。ウィンドウの表示方法を制御します。

windowMax()

起動しているAE全てを最大化します。

windowMin()

起動しているAE全てを最小化します。

windowNormal()

起動しているAE全てを通常化します。

getMousePos()

マウスの位置をオブジェクトで返します。

setMousePos(x,y)

マウスの位置を設定します。

• beep()

ビープ音を鳴らします。 1-52の値が指定できます。

installedAE()

インストールされているAfterFX.exeの実行ファイルパスの配列が変える。

isInstalledESTK()

Extend Script Tool Kit cc がインストールされているか(bool)

aeplaysound(num)

AEのリソースにあるWavファイルを再生します。

• playSound(path)

wavファイルを再生します。パスはWindows形式で

processAEList()の返り値は配列です。toSource()すると以下の感じです。

- hWND
  - ウインドウハンドルの値
- processID
  - プロセスID
- processName
  - プロセス名
- title

タイトルバーに表示されてる文字。urlエンコードされてます。File.decode()で復元してください。

- path
  - 実行ファイルのフルパス。
- isWindow
  - ウィンドウが表示されていたらtrue
- isZoomed
  - 最大化してたらtrue
- islconic
  - 最小化化してたらtrue

showWindow()はwin31apiを呼び出してるだけです。

引数のhWndはウインドウハンドルって奴でprocessAEList()で獲得できます。

nCmdShowは1で通常、2で最小化、3で最大化です。その他もあります。

ShowWindow 関数

を参照してください。

### 忘れるな!自分に対しての覚え書き

ESInitializeに渡す関数リストの各関数の引数指定の文字はSDKのSampleLib.cppを参照のこと

#### 整数はuじゃなくてd

```
"createObject_ss,"  // setVersion (int)
"createObject_ss,"  // createObject (string, string)
"createArray,"  // createArrav()
"paramAny o "
static char* signatures =
    "paramAny_a,"
                                  // paramAny (any)
    "paramString_s,"
                                  // paramString (string)
    "paramBool b,"
                                  // paramBool (bool)
    "paramUInt32 u,"
                                  // paramUInt (unsigned int)
    "paramInt32_d,"
                                  // paramInt (signed int)
    "paramFloat64_f"
                                  // paramFloat64 (double)
    "built"
                                  // built() -> string
```

#### License

This software is released under the MIT License, see LICENSE

#### **Authors**

bry-ful(Hiroshi Furuhashi)

twitter:[bryful] (https://twitter.com/bryful)

bryful@gmail.com

# References

CEP & C++ネイティブコードによるPhotoShop拡張 https://qiita.com/MAA\_/items/b1a35ab73af9f7b327e0